

鶴岡市農業委員3期目の改選 9月市議会で20人を同意可決

鶴岡市農業委員会委員（定数20人）の任期が11月25日に満了となることから、9月市議会開会初日の5日、新委員の任命が提案され、全員賛成で同意可決されました。

委員の推薦及び応募が①一般推薦1人、②団体推薦16人、③応募3人の計20人があり、全員が選考委員会で選ばれました。

農地利用最適化推進委員から委員になったのが6人、渡部長和会長ら今期で退任される委員は15人で、うち2人が委員から最適化推進委員に代わりました。任期は3年。

退任する農業委員

1	佐藤康弘	新海町
2	坂東陽水	勝福寺
3	土岐善久	大広
4	大池典子	淀川町
5	阿部元成	面野山
6	高橋好博	和名川
7	大沼恒司	長沼宮前
8	丸山成章	たらのき代
9	佐久間豊	西荒屋
10	小林義一	黒川成沢
11	佐藤みほ	熊出
12	渡部長和	東岩本
13	五十嵐覚	関川

※ 吉住喜之氏は最適化推進委員に

※ 新館登氏は最適化推進委員に

2015（平成27）年の農業委員会法「改正」で、公選制から市町村長による任命制に変わり、今回は3期目の改選となります。農業委員の過半数は原則として、認定農業者とされています。また、「利害関係を有しない者」（中立委員）を1人以上含めるとき、今回は2人です。主に合議体としての意思決定を行う農業委員とは別に、担当区域における農地等の利用の最適化の推進のための現場活動を行う「農地利用最適化推進委員」（現31人）を設置します。

9月議会で同意された鶴岡市農業委員

鶴岡市農業委員会委員			現職
1	五十嵐覚	関川	農業委員
2	工藤久子	藤島	農業委員
3	石塚治己	三瀬	農業委員
4	金野匡良	羽黒町猪俣新田	農業委員
5	石井光明	添川	農業委員
6	荻原優太	大山	農業委員
7	佐藤晃	中清水	農業
8	菅原仁	羽黒町赤川	農業
9	丸山伸一	羽黒町荒川	最適化推進委員
10	佐藤泰仁	馬町	最適化推進委員
11	佐藤治久	下小中	JA鶴岡理事
12	渡部修	羽黒町高寺	JA庄内たがわ理事
13	原田政幸	福田	最適化推進委員
14	小林博	黒川小在家	農業
15	田澤幸弘	下清水	最適化推進委員
16	阿部晃士	谷定	農業
17	鈴木聡	松根	最適化推進委員
18	伊藤由紀子	熊出	最適化推進委員
19	野村恵	丸岡	自営aonosoraアオノソラ
20	松本典子	文園町	(株)まんまーる代表取締役

ふるさと賛歌 4

鈴木重雄（八色木）

新村造成請願（続き）

地形人情

小中島、八色木、豊栄の3村は元来、村名を異にするといえども、八色木村は小中島村と豊栄村の間に分立し、而して小中島とその距離わずか4丁に過ぎず、豊栄へは1丁に満たない村落なり。

ただし、またこの3ヶ村は密接な、離れることのできない理由がある。用水と学校の件である。

この3村は因幡堰の末水にして耕作し、殊に年々夏季の干ばつの憂いあり。

3ヶ村共同し、一致して事を図り、緩急相救い、学校資産に於いても、桑畑を共同し、一對をなす密接な関係にあり、是3ヶ村離るべからざる所以である。

以上、列記する理由によりて、3ヶ村を合して造成し、以て一つの自治体となることを欲するものである。

長沼村に八色木、豊栄を合わせては、人情異にして良結果を得られないであろう。また小中島村を藤島村に合わせても是又同じにして、永遠に損失である。

依って小中島、八色木、豊栄を合して一つの新村を造成すべく、3村民連署を以て懇願奉候也。

明治20年9月21日
東田川郡八色木
半澤昭祥 外202人連盟

山形県知事 紫原和殿

このような新村造成願を出したが、容易に県の承認を受けることはできなかった。

なぜ小規模な自治体を造成しようとしたのかは、願書にもあるように、灌漑用水が因幡堰の末流であり、八色木地区の揚水の苦労は大変なものであり、水系が自治区を構成する要因と言える。

新村造成当時の立役者は次の人たちであった。

八色木 日向宇兵衛
鈴木利右衛門、鈴木五郎右衛門、半澤昭祥、豊栄 成田仁左衛門、

日向伴蔵、富樫徳左衛門、布川重七、日向嘉右衛門、日向三右衛門、小中島 石川長四郎、林玄吉、石川代松、

八色島村は1889（明治22）年4月1日、3ヶ村の区域をもって発足した。



